

# 「過保護」な梱包ずかん



## 不思議で過保護な梱包の世界へようこそ

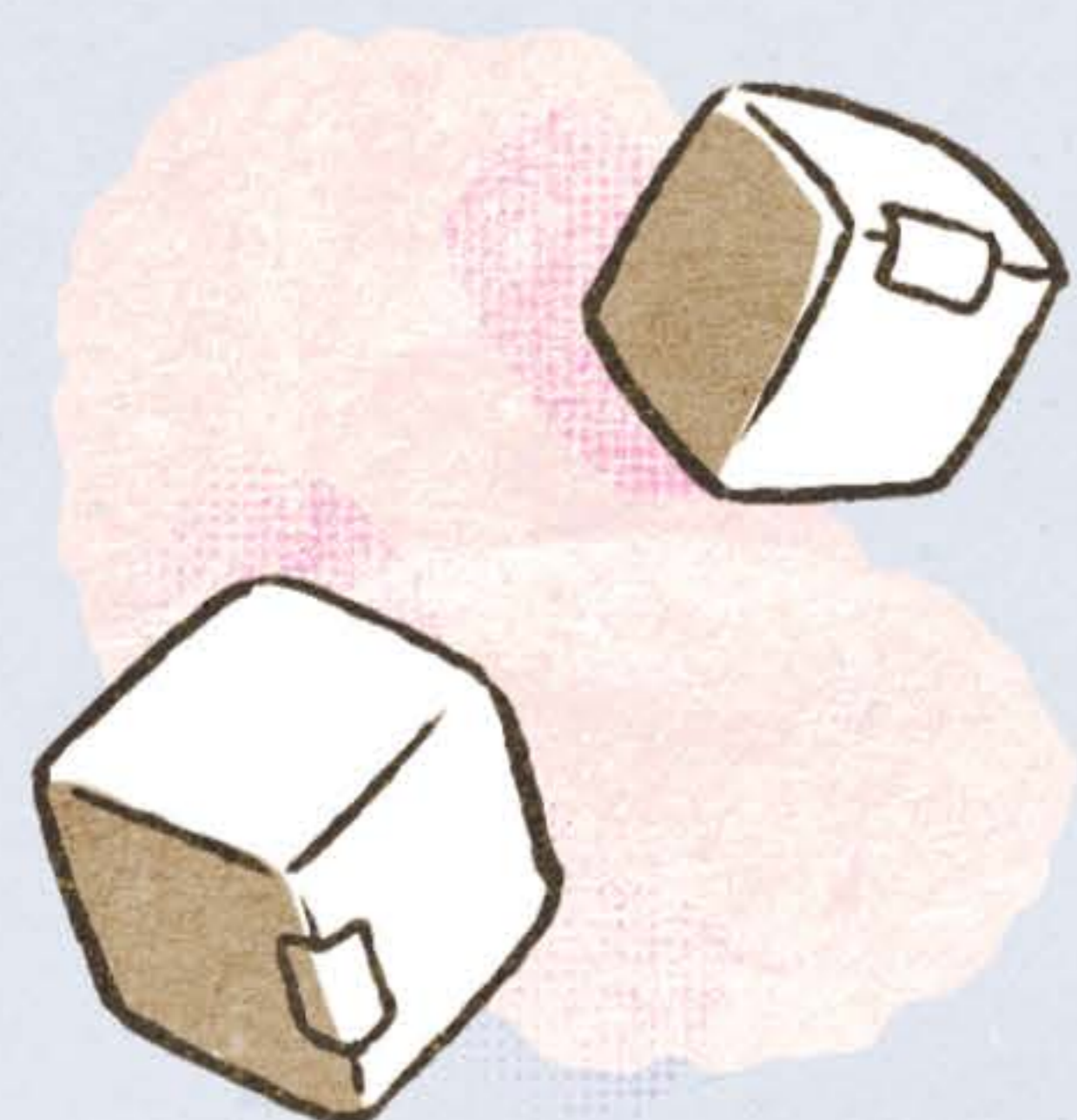
届いた荷物のふたを開けた瞬間「あれ?」「なんだこれ?」と思ったことはありませんか?

梱包にも様々な種類がありますが、中には必要以上に嚴重な梱包にしまったり、開封後に使う人の利便性が全く考慮されていなかったりと、過保護で残念な梱包が存在します。もしかするとあなたの会社で扱う荷物も、受け取った人に「妙な」印象を与えてしまっているかもしれません。

このe-bookは、よくある「過保護な梱包」の事例を紹介します。ご覧いただいた皆様が、「これって本当に必要なの?」「この梱包は何でこうなっているの?」と改めて考え、自社の梱包の改善を検討するきっかけになればと思っています。

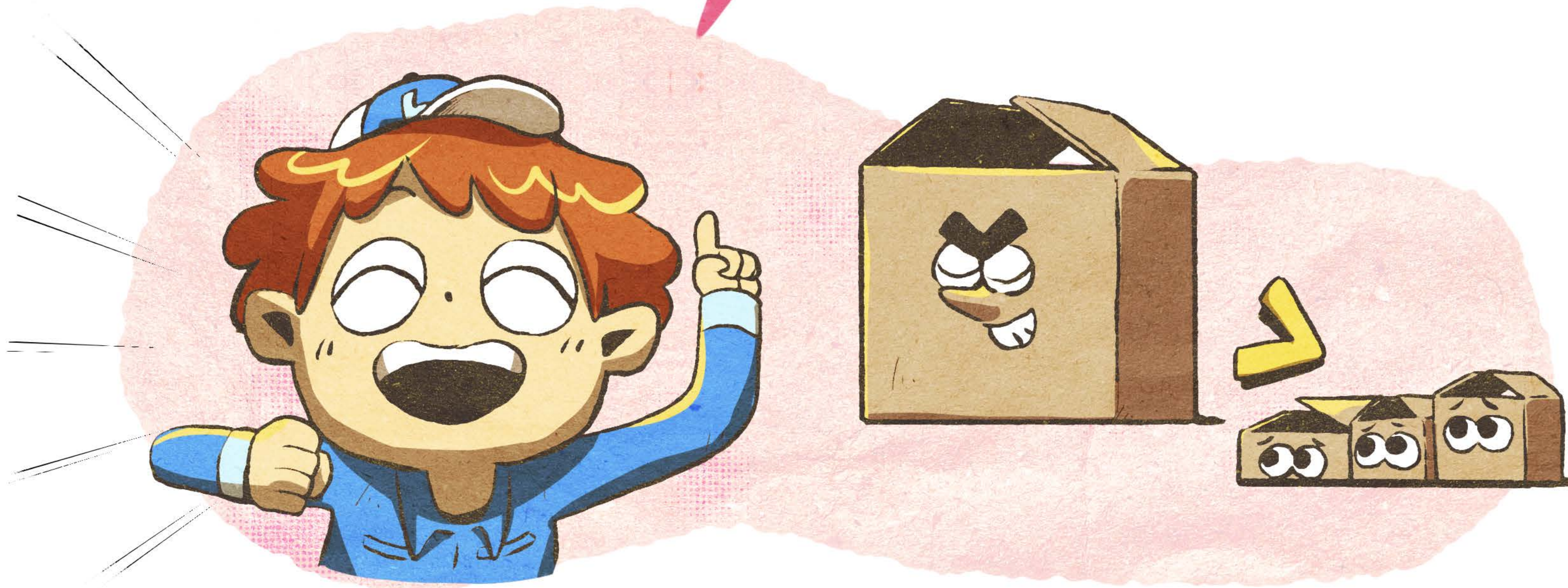
### 目次

- 宇宙空間!箱と商品のサイズが違いすぎ…まさに過保護な梱包だ!
- 豪華絢爛!三重(さんじゅう)の箱!箱の中に箱!もはやマトリョーシカかっ!
- 本物はどれ?ここ掘れワンワン!箱の中がダミー箱だらけ!
- 戦慄迷宮!知恵の輪クッションパズル!一度はずしたら再現不可能!
- カッチカチ!テープどれだけ貼るの!どこもかしこもテープだらけ!
- 発泡スチロールの板だらけ!開けた瞬間スノードーム!わぁキレイ...♡って思うか!
- アクロバティックな通い箱!たくさん入れすぎ!重くて運べない...!
- (番外編)仕上げにクッションの繭を少々!…って意味ないじゃん!



# 宇宙空間!箱と商品のサイズが違いすぎ…まさに過保護な梱包だ!

大きな箱なら何でも入れられるぞ!



商品に合わせて箱をたくさん用意すると、箱の在庫だけで保管スペースがいっぱいになってしまう。  
代表的な規格の箱を用意するため、どうしても箱と商品のサイズに違いが生まれる現象。



## チェックPoint

規格の箱を用意するのは在庫スペースの削減になるのでオススメです。本当に適正な箱サイズであるかどうか見直しをかけてみましょう。



## 改善で得られるメリット

- 余分な箱が減るのでさらなる保管スペースを確保可能
- 箱のサイズを配送する業者や配送するトラックに合ったサイズにすることで配送効率も向上



# 豪華絢爛!三重(さんじゅう)の箱!箱の中に箱!もはやマトリョーシカかっ!

箱の中に箱がある!  
ワクワクさせる仕掛けがあるなんて素敵!



商品が破損しやすい場合などに、内箱で剛性を持たせ、外箱と内箱の間に緩衝材を用いることで剛性+緩衝性を持たせる構造。

箱の中に箱さらに箱という  
マトリョーシカ現象を巻き起こす



開梱の手間はひとしお

## チェックPoint

まず、三重構造を二重にできるか考えてみましょう。

二重にしたあと、内装構造と併せて剛性+緩衝性能を設計しましょう。



改善で得られる  
メリット

- 梱包、開梱の手間がなくなる
- 輸送サイズも小さくなるため配送費削減につながる



# 本物はどれ？ここ掘れワンワン！箱の中がダミー箱だらけ！

これだけダミー箱を入れておけば製品は大丈夫！  
安全に運べるぞ！



箱と商品に隙間がありすぎるため、埋めるためにダミー箱や仕切り材を大量に使っている現象。



## チェックPoint

縦横高さの使い方を考え、箱をできる限り小さくしましょう。

安全性を確認したうえで、無駄な隙間埋めをやめましょう。



## 改善で得られるメリット

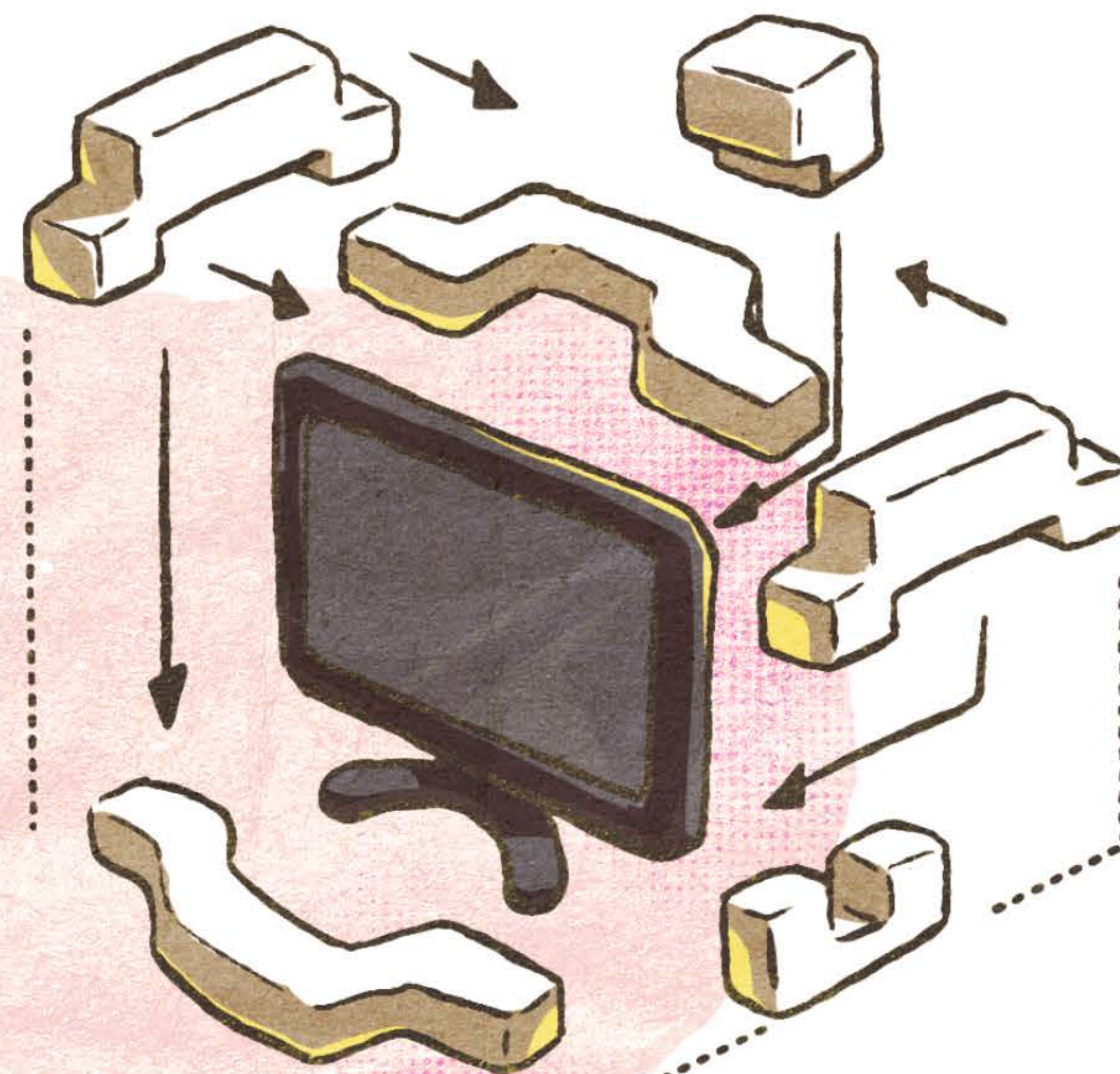
●箱を小さくすることで配送費を削減できる

●無駄な梱包資材のコストを削減



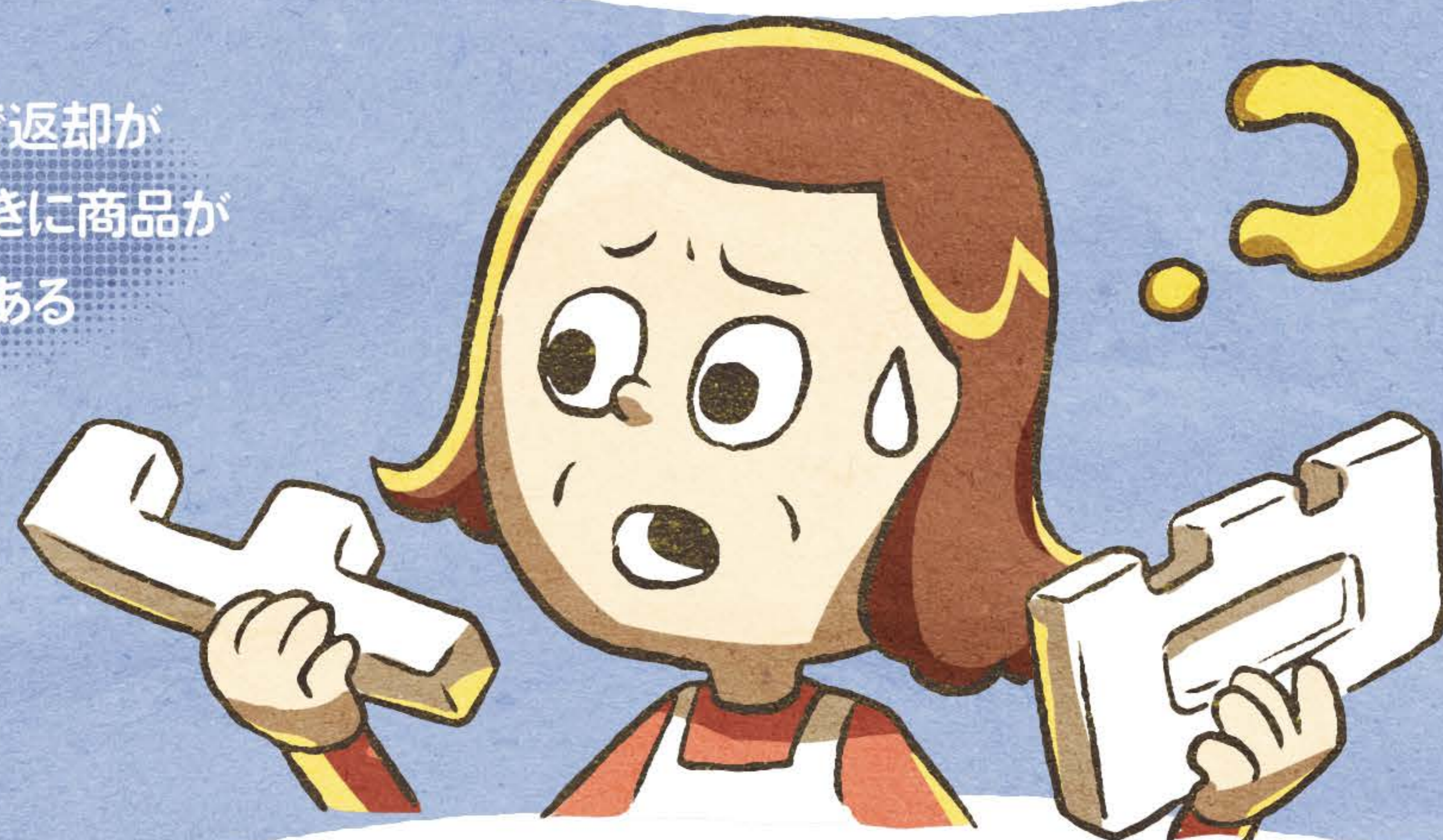
# 戦慄迷宮!知恵の輪クッションパズル!一度はずしたら再現不可能!

ここまで複雑にすればカッコいいこと、  
この上なし!



商品を安全に届けることだけに集中してしまい、到着後の手間を  
考えていない現象。

定期メンテナンスなどで返却が  
発生した場合、送り返すときに商品が  
破損する可能性がある



複雑すぎて、一度商品を取  
り出してしまったら、もう  
二度と再梱包はできないでしょう

## チェックPoint

落下試験などを行い、今一度  
最適な梱包材かどうか見直し  
てみましょう。

オーダーメイドで作る際は、  
なるべく梱包材点数が減るよ  
うに心がけましょう。



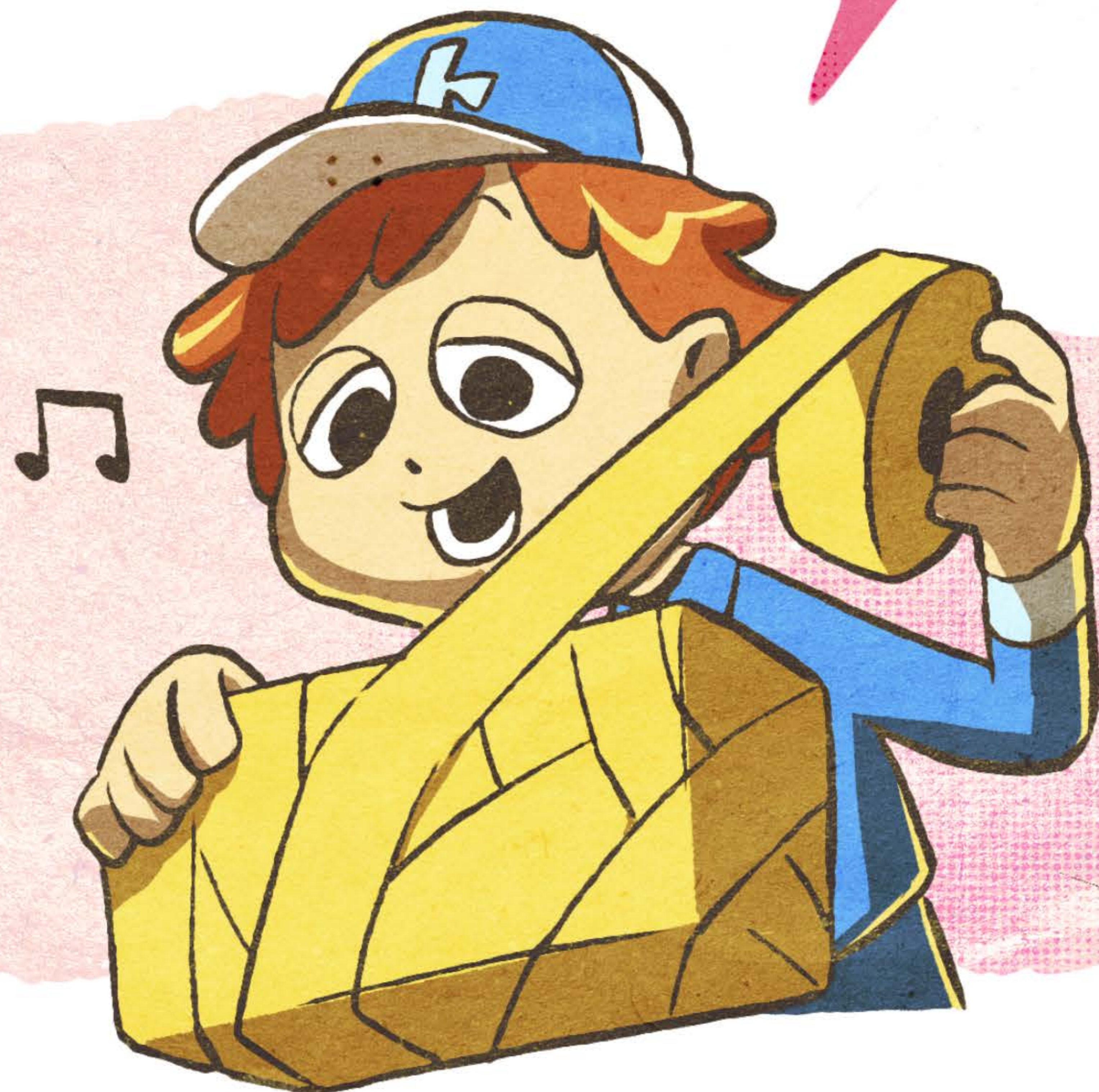
## 改善で得られる メリット

- 上下、左右が同じクッションなら再梱包しやすくなる
- 梱包材点数が少なくなることで保管スペースも削減可能



# カッチカチ!テープどれだけ貼るの!どこもかしこもテープだらけ!

これだけ重厚にテープを貼りまくれば、  
絶対異物混入は防げるぞ!



隙間から異物混入しないようにテープでとにかかく隙間を閉じる現象。

楽しみにしていた製品を早く  
見たいのにカッターや  
ハサミでテープを延々と  
チョキチョキチョキチョキ……



まだ開かない、まだ見  
られないという心理的  
ストレスは最上級

## チェックPoint

商品がポリ袋に包まれている  
としたら、本当に箱の隙間をテ  
ープですべて埋める必要はあ  
るのでしょうか?

内容物、内装材の状況も考慮  
して箱のテープ止めをどうす  
るか考えてみましょう。



改善で得られる  
メリット



●箱のテープ止めが減ること  
で作業効率が向上

●内装材と併せて考えること  
で適正な梱包資材のカタチ  
が見えてくる



# 発泡スチロールの板だらけ!開けた瞬間スノードーム!わぁキレイ...♡って思うか!

軽くてクッション性がある隙間埋めにもなる!これは一石三鳥だ!



テーブルや四角い商品では当て材として扱いやすいので、ついつい入れてしまう現象。

発泡スチロールも面で衝撃を受けると固くなるので、緩衝性能は実はそれほど高くない



静電気のせいで段ボールから取り除くのも大変(手に引っ付くから究極ストレス)

たいてい届いた時には中でボロボロとカスが散乱している

## チェックPoint

当て材が必要かどうか輸送状況を考慮して設計しましょう。

角当てに発泡スチロールを使用して、面受け部分などは気泡緩衝材やエア緩衝に変えてみましょう。



## 改善で得られるメリット

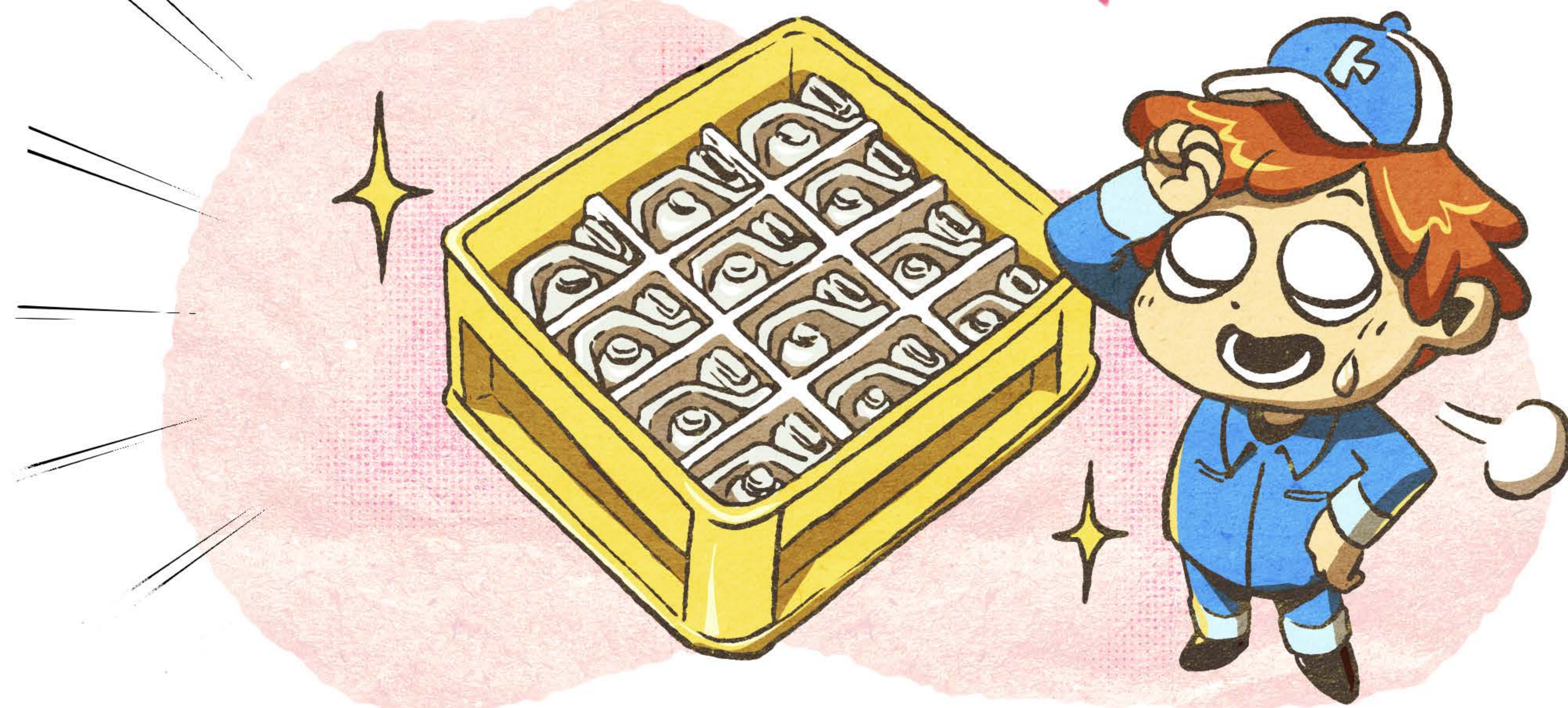


- 発泡スチロールの在庫保管スペース削減
- 開梱後の廃棄作業時間の短縮
- 廃棄梱包資材の削減



# アクロバティックな通い箱!たくさん入れすぎ!重くて運べない...!

キレイに沢山入れる事ができたぞ!

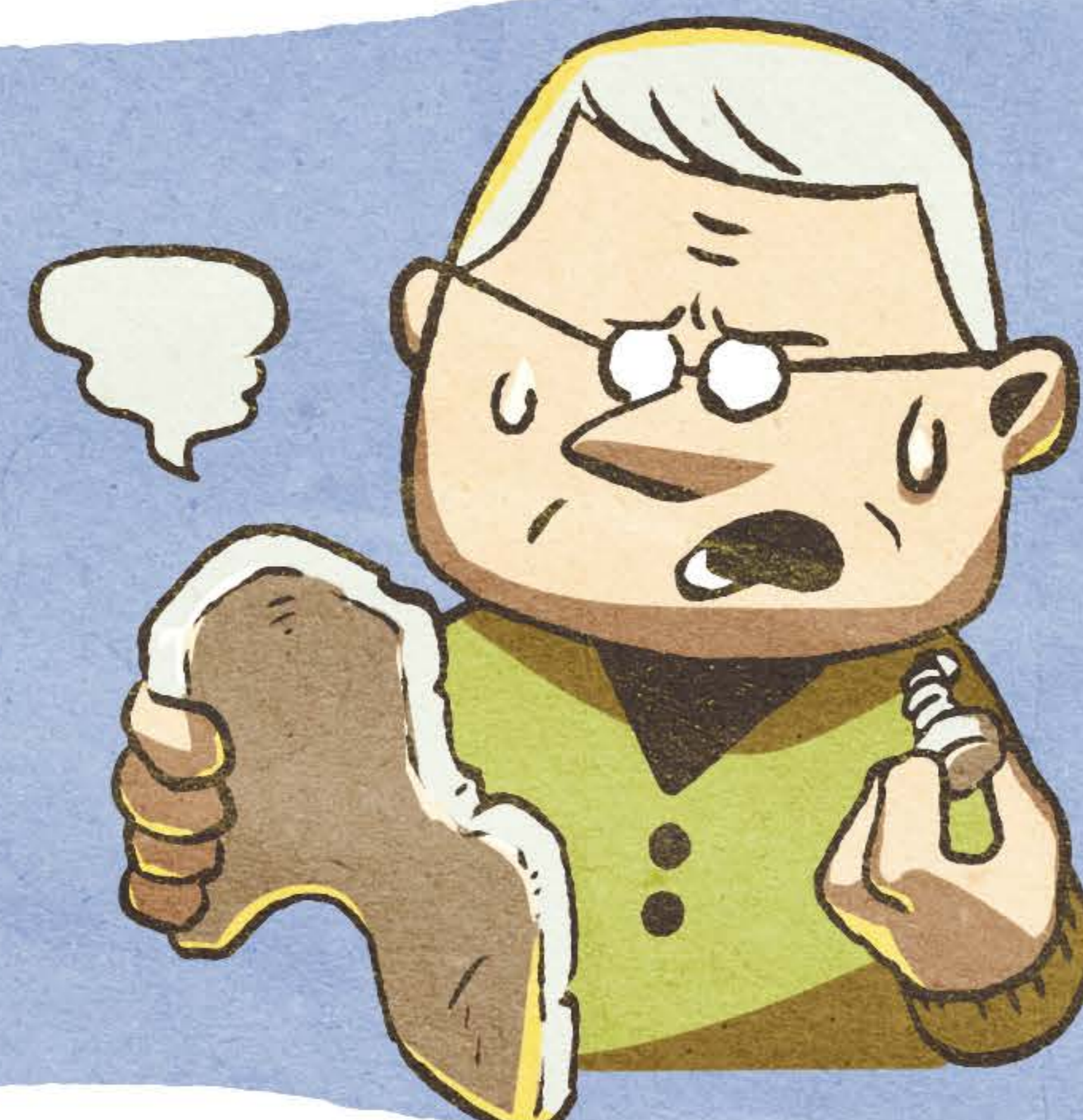


通い箱は何度も部品を運ぶため、一度にたくさん運べた方が輸送コストをおさえることができる。限界までなんとか詰めてしまおうと考える現象。

重くなって  
運べない



入れ方が複雑すぎて  
取り出せない



固定されてないから  
部品にキズがつく

## チェックPoint

仕切り、くり抜きクッション、固定材、成形トレイなど部品に合わせて選定する箱サイズ、総重量、入れる向き、作業性を考慮して最適な入数にする



## 改善で得られる メリット

- 出し入れの簡素化、作業性向上
- 部品をしっかり固定することで不良発生削減
- 顧客との導入後のトラブル回避



商品が大きくて重たいから  
繭は少手で充分だ!



入れる意味があるのか?と思うほどこの梱包は理解しがたい現象。



緩衝材の意味を  
なしていない

捨てる作業を  
受取者に課している

### チェックPoint

重量物の場合は、繭クッション  
では効果がないので、フィルム  
緩衝材で箱に固定するか気泡  
緩衝材あるいはエア―緩衝材  
で固定してみましょう。



### 改善で得られる メリット

- 製品安全性向上
- 破損軽減
- 開梱後の驚き削減



## 「これでいいのかな？」という素朴な疑問が、改善の“はじめの一步”

- ☑ いくつかの事例をもとに、過保護な梱包の改善についてご紹介しました。ご覧いただいた皆様の中には「あれっ、見覚えがある!」と思われた方もいらっしゃるでしょう。
- ☑ たかが梱包、されど梱包。梱包を改善することで、作業効率をあげたり、費用を削減できることがお分かりいただけたかと思います。
- ☑ 普段当たり前のように使っている自社の梱包を、このe-bookを参考に、ちょっと違った視点で見ましょう。よりよい改善方法が見つかるかもしれません。

### 物流に関するお役立ち情報



### ご相談はお気軽に!



### 会社概要

